



# コラムライティングマニュアル

今後のWebサイトの集客戦略の肝は“オリジナルコンテンツ”。Webサイトに独自の記事を定期的に継続していくことで、これまで取りこぼしていたユーザーの流入や、サイト全体のアクセス数UPが期待できます。

整理したキーワードに沿った内容の記事を書いていきます。記事を書く際は、キーワードを記事タイトルや記事本文のなかに含めることが重要で、さらにキーワードに関連すると思われるワードを散りばめながら書くのが理想です。

# 記事を書く

## 1 記事制作にあたっての注意事項

他社サイト・書籍などからの引用は著作権法に抵触するため、厳禁です。コンテンツライティングにおける記事はオリジナリティーが重要です。他社サイト・書籍などを参考にさせていただくのは構いませんが、できるだけご自身の言葉・表現で書いてください。

また、主張・意見を述べるなかで、特定の会社・製品・サービスなどを引き合いに出して比較・批判するような内容になることがあるかもしれません。この場合は、名誉毀損などの法的リスクがあることをご承知ください。

コピー



オリジナル



# 記事を書く

## 2 記事タイトルの付け方

- ・記事タイトルにはキーワードを含めましょう。
- ・記事タイトルは15～25文字で作成するのが理想です。

【例：キーワードが「岩盤浴」の場合】

【必見！岩盤浴のデトックス効果を高める入り方は？】

→文字数は23文字で「岩盤浴」が含まれています。

タイトルは15～25文字



# 記事を書く

## 3 メタキーワード・ディスクリプションの書き方

### ■メタキーワードとは？

テキストが入ります。

→メタキーワードには、記事のタイトルや本文に含まれるキーワードを2~3個入れましょう。

【例：キーワードが「岩盤浴」の場合】

【岩盤浴,デトックス,効果,高い,代謝アップ,六本木】

### ■ディスクリプションとは？

テキストが入ります。

→ディスクリプションには、記事の要約文を100文字前後で書きましょう。記事から100文字前後をコピーしても構いません。

【例：岩盤浴のデトックス効果を高めるために押さえておきたい「入り方のポイント」。休憩を挟みながらじっくり温まり、こまめな水分補給、入浴後はシャワーなしがお勧めです。港区六本木にある女性専用の岩盤浴で体験してみましょう。】

キーワード2~3個



ディスクリプション

100文字前後



# 記事を書く

## 4 本文の書き方

- ・記事本文は1,000字程度が理想です。これは、ユーザーが3～4分で読めるボリュームです。
- ・記事本文は、書き手の素顔が見えるような親しみやすい文体で書くのが理想です。
- ・自社商品・サービスのアピールは、コラム記事にはあまり向きません。アピールするとしても、最後の2～3文程度であっさり・さりげなく紹介する程度にしましょう。

**本文は1000文字程度  
3～4分で読める量**



## 5 継続して記事を書いていくために

記事は「どんなキーワードを使って書くか」も重要ですが、「継続して書き続けること」のほうが重要です。ネタが尽きることなく、無理なく書き続けるために、以下を参考にしてください。

- 日記のように「続けられるネタ」で考える

- ウエディングDiary～今月の花嫁さん紹介～
- 今週のリフォーム現場レポート

- シリーズ化する

- プロが教える！中古車選びの秘訣10
- 飲食店開業～7つの着眼点～

- 時事ネタ、業界のニュースをピックアップする

- 東京タワーのエレベーター事故に思うこと
- 相続税増税に備えて今やるべきこと

- 部門ごとなど、複数のコラムニストで取り組む

- 社長が書く日、営業が書く日、製造担当が書く日、アフター担当が書く日など担当制にします。

## 6【応用】慣れてきたら挑戦してみましよう！

### ■写真・画像の追加

記事本文を補足したり、イメージを湧かせたりするために、写真・画像を挿入することもできます。

※文章と同様に、他社サイト・書籍などからの引用はNGです。著作権法に抵触します。

### ■キーワードを記事本文に追加する

記事を更新した後、読み返してみて、カテゴリ内のキーワードを新たに追加したり、カテゴリ内のキーワードに変換したりしてみましよう。

例：不動産活用→**土地**活用

例：アパマン経営→**アパート経営**・**マンション経営**

例：家計に余裕がない→**相続税**が払えない

### ■内部リンク

記事内の特定のテキストを他のページにリンクさせます。

関連する他の記事にリンクを張る場合は、1記事から1リンクが理想です。

PHOTO  
KEYWORD

